

社会を明るくする運動は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と更生について



笑顔で呼びかけ

藤里地区更生保護女性会は7月1日、第60回「社会を明るくする運動」全国強調月間の活動として藤里中学校前と藤琴市日での街頭宣伝と、第60回の活動を記念し、役場前から先導車に続いて藤琴地区でパレードを行い、ティッシュくばりなどで運動への理解を呼びかけました。

明るい社会を築こう

更生保護女性会



迅速さと正確さが求められます

この日は朝から日差しが強く、立っているだけで汗ばむ程の快晴でしたが、ウォーキング慣れた参加者は、帽子やタオルで日差しを遮り、心地よい汗を流していました。また、小さな参加者2名も無事



堤防も暑かったです

た。

今年はず年のコースから変更され、総合開発センターを出発。旧営林署前から藤琴川堤防へ向かい、解禁されて間もない鮎釣り人で賑わう藤琴川を見下ろしながら、寺沢橋を経て馬坂橋で休憩。そこからバイパスを通り、おばこ前から総合開発センター前に戻る一周約5kmのコースを自分のペースでゆつくりと歩きました。

歩いて健康づくり

健康ウォーキング開催

7月4日、はつらつ健康ウォーキングが開かれ、11名の町民が参加しました。

理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動で、毎年7月を強調月間として展開しています。



まもる君と約束しました

園児たちは、紙芝居に興味津々の様子でしたが、読み聞かせ後に登場したまもる君の姿を見て更におおはしやぎ。まもる君から人形やシールのプレゼントを受け取り、人権擁護委員の方々と、お友だちにいじわるをせず、みんなでなかよくすることを約束しました。

この日は、能代山本地区の人権擁護委員5名を迎え、漫画家やなせたかしさんの紙芝居「ぐらぐらもりのおぼけ」を委員の方々がそれぞれKENまもる君、あゆみちゃん、もぐらなどを担当し、読み聞かせを行いました。

7月5日、藤里幼稚園において、人権教育啓発活動の一環として、能代山本人権擁護委員による紙芝居の読み聞かせが行われました。

いじわるはしません

人権紙芝居読み聞かせ

完歩し、開発センター前に全員がそろると、自然に爽やかな笑顔が溢れていました。

みんなのわだい

《雑学風味》「ところ天と寒天」

ところ天は海藻に水を加えて煮だした後固めたもので、寒天はところ天をさらに脱水乾燥させたものだそうです。寒天はところ天を凍結乾燥させて作られたので「寒ざらしのところ天」という意味で命名されたそうです。